東広場リニューアル工事のお知らせ

～工事の進め方について～

発行　令和元年 12 月

大阪駅前地下道東広場のリニューアル工事は、地上と地下で大規模な工事を行っていますが、工事現場は白い塀に囲われていて、外からではどのような工事が行われているのか分かりにくい状況です。

このため、この「東広場リニューアル工事のお知らせ」では、工事の内容や進め方をできるだけ分かりやすく、市民の皆様ならびに周辺を通行されている皆様へお伝えできればと考えています。

今回は、工事を進めるための役割分担や工事の進め方を中心にご紹介します。

◆工事を進めるための役割分担

この工事は、大阪市（事業主体）と阪神電気鉄道株式会社（委託先）が協力して工事を進めていますが、実際の工事は奥村・森本・ハンシンＪＶ（施工業者）が請負っています。

（ＪＶとは複数の企業で工事を行う共同企業体のことです：joint venture の略語）

工事現場周辺の沿道店舗及び鉄道駅等への工事説明や周辺工事との調整を、それぞれの立場から関わり、安全かつ効率的に工事を進めています。

◆工事の進め方

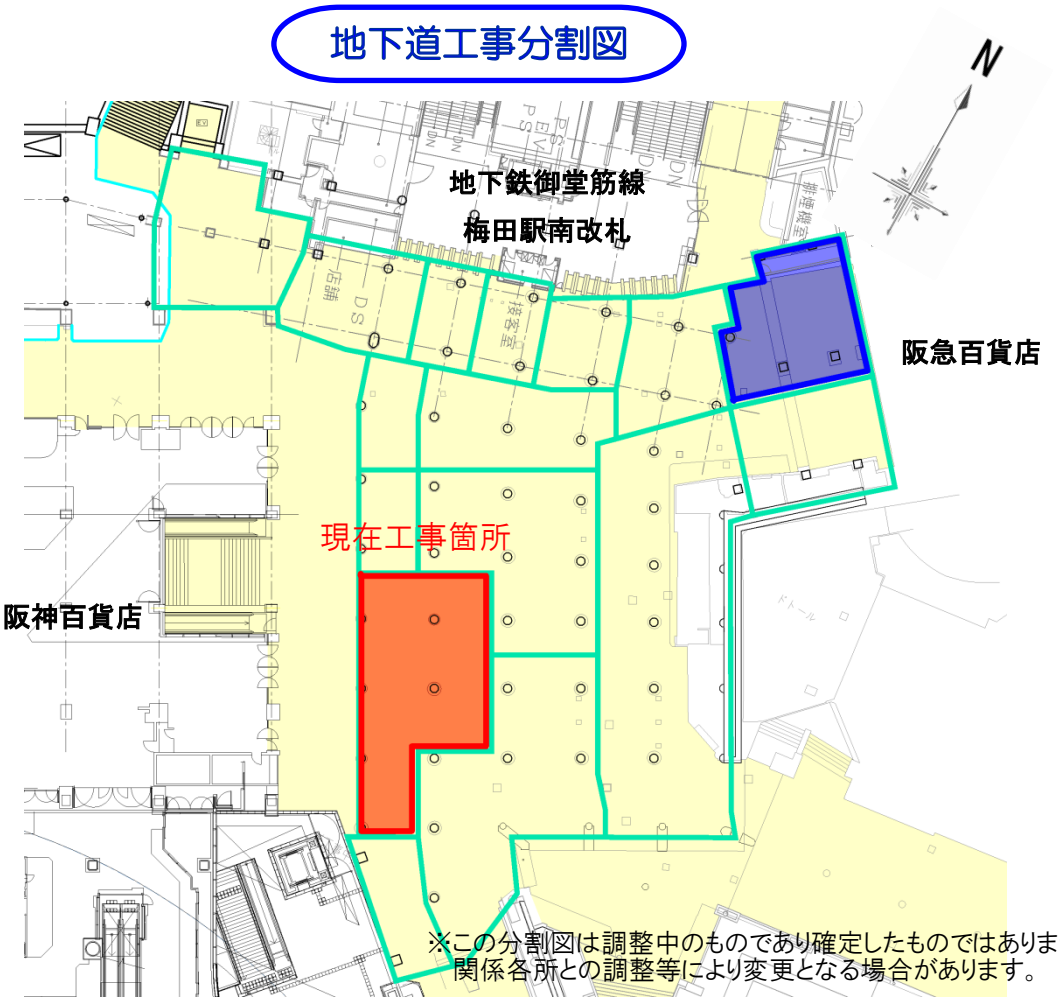
地下道は、地上から地面を掘って工事を行います。地上・地下の車や人の流れと、沿道店舗や鉄道駅への出入り等を考慮して、施工エリアを検討し、次の地下道工事分割図に示すブロックごとに工事を進めていく予定としています。

その前段として、地上の歩道と車道の一部を囲って工事ヤードを設置し、その中で支障となる埋設管の移設や、工事ヤード内の掘削工事を進めていきます。上の写真では、その様子が見ていただけるかと思います。

大部分の工事は、工事ヤードの外となりますが、工事ヤードの外の車道には、たくさんの車が通っていますので、必要な車線を確保できるよう計画し、昼間より車が少なくなる夜間に工事を行っていきます。

このように、基本的には、施工エリアや車線規制を変えながら、ブロックごとに工事を実施していくこととなりますが、今後、早期に工事を完成させるため、通行を確保しながら、いくつか

のブロックを同時に施工する事も予定しています。



◆現在の工事内容

現在、地下道工事分割図の赤色部分の工事を行っています。地下道に仮囲いを設置して、既設構造物の撤去や、新しい地下道の躯体を作る工事を行っています。

また、引き続き青色部分の工事も進めていく予定です。

工事は、作業による騒音や振動等の環境面にも配慮し、施工方法や時間帯を工夫して工事を進めています。

仮囲いにより、通れる幅が狭くなっている所もありますので、周辺をご通行される際はご注意ください。

工事中、ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。

工事方法等の詳細については、引き続き次回以降にお伝えできればと考えています。よろしくお願いいたします。

仮囲いの状況